

関節運動学的アプローチ-博田法^{はかた}

Arthrokinematic Approach-Hakata's method

略称:AKA-博田法(エーケーエーはかたほう)

リハビリテーション科では治療に関節運動学的アプローチ-博田法 (AKA-博田法) を取り入れています。この治療法は運動療法の一つであり、従来のリハビリテーション技術の欠陥や不足を補うために開発されたものです。

AKA-博田法はリハビリテーションへの応用とあわせて、関節が原因で起こる様々な症状への治療法としても使用されています。

AKA-博田法とは

「AKA-博田法」は関節運動学という学問に基づき、関節包内運動の異常を治療する運動療法の一つです。関節包内運動とは関節の構造的な遊びや、互いの面が滑りや転がりなどを組み合わせながら動く運動のことです。肩や膝、背骨など全ての関節は蝶つがいのように単純に動くのではなくこうした関節包内運動をともなうことでスムーズに動いています。

この治療法は医師の博田節夫先生により 1979 年より約 10 年かけて開発されたもので現在も研究が続けられています。関節包内運動が障害されると次のような症状が出現します。



運動障害(動きの制限・筋力低下など)、筋緊張の異常(亢進・低下)

関節原性の痛み(運動痛・圧痛など)、感覚障害(しびれ・鈍麻等)、その他

AKA-博田法の適応

1、運動障害の治療(運動療法)

例) 脳卒中、骨折術後、脊髄損傷、慢性関節リウマチ 他

2、関節機能障害の治療

例) 変形性関節症、腰痛、寝違え、五十肩 など

運動障害の治療

リハビリテーションの対象となる疾患では骨・関節の障害や麻痺、筋力低下など様々な症状が起こります。このような疾患から直接起こる症状とあわせ二次的な障害が合併すると運動機能をさらに低下させることがあります。

AKA-博田法を用いることで本来の症状とともに、二次障害に対しても効果的な治療がおこなえるため効率的にリハビリテーションを進めることができます。

関節機能障害の治療

股関節や膝の痛み、腰痛、肩痛などは従来から様々な原因が言われています。

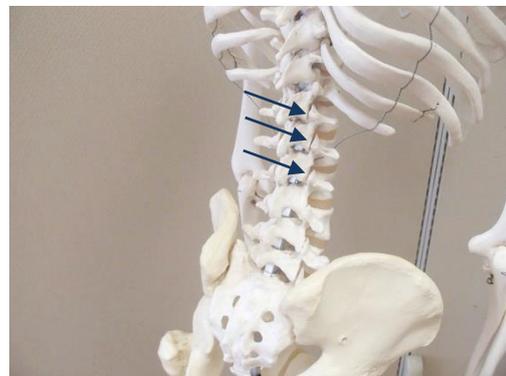
AKA-博田法の開発により、多くの場合は仙腸関節や椎間関節などの機能障害から起こる症状の一つとわかってきました。

AKA-博田法はこうした関節の機能障害に対する唯一の直接的な治療法です。

仙腸関節



椎間関節



AKA-博田法の実施について

AKA-博田法は、医学的な理論を基礎とした治療技術です。

現在、医師や理学療法士、作業療法士が「日本AKA医学会」と「日本AKA医学会理学・作業療法士会」の二団体を通し習得に取り組んでいますが治療を行っている施設は多くはありません。

当院では、会の認定を受けた理学療法士がAKA-博田法を実施しています。

*近年、医療機関ではない整骨院、治療院等でAKA-博田法の治療を宣伝している施設もあるようですが、「AKA-博田法」を標榜できるのは会より正式な教育を受け認定を取得した「医師」「理学療法士」「作業療法士」のみとなりますのでお気をつけ下さい。

関連ホームページもインターネット上で公開されていますのであわせてご覧下さい。

日本AKA医学会 <http://www.aka-japan.gr.jp/>

日本AKA医学会理学・作業療法士会 <http://akaptot.com>

外来治療は新患、再診ともに予約制となります。

リハ予約電話（直通） 090-3986-4059

医療法人桜珠会 可也病院 リハビリテーション科